

キメラは北の大地で精密金型の製作・加工を手がける企業として随一の存在感を放つ。国内にとどまらず、マレーシアや米国への海外展開を進める。社長の藤井徹也は室蘭で育んだモノづくり力について、一層の可能性を追い求めている。

精密加工設備が自慢

横浜市で創業した協和精工が前身。1988年、室蘭市に進出して設立した。藤井は創業者の宮崎秀樹から11年に社長のバトンを受け継いだ。

自社の強みを「精密加工の機械設備をこまごまそろえている中小企業は全国でもほほほない」と強調。約100台の加工機械があり、熱処理以外の加工は全て手が

成長企業チカラの源泉

ける。短納期に加えて、全ての品質を保証するため寸法の検査体制も整えている。これまでの技術を生かし、医療関連など新たな加工分野に取り組みほか、「情報は取りにくいから、営業拠点を道外4カ所に配置して全国の需要にも対応する。一方で国内需要の頭打ちも感

キメラ

熱処理以外全て自社加工



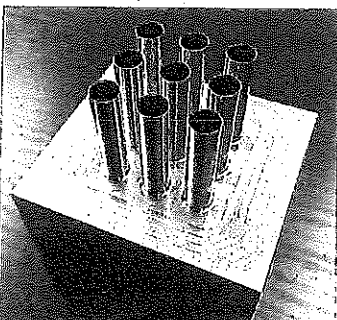
社長 藤井 徹也 氏

じており、近年、力を入れてきたのがマレーシアや米国といった海外需要を取り込む動きだ。需要や人件費、英語が通じるかなどを検討し、マレーシアに子会社のCPTDマレーシアを設立。工場は12年に本格稼働した。工場は12年に本格稼働した。工場は12年に本格稼働した。

働した。当初はマレーシア人の仕事に対する姿勢などに苦戦した。14年後半にインドで雇用した人たちが刺戟となり、マレーシア人が危機感を覚え、仕事が軌道に乗るようになった。「15年からは黒字の月も出てきた」と話す。

モノづくり力で地域貢献

Cを買収した。「米国でゼロから展開するのは難しい。取引先などが確立している企業との出会いが確立して力をつけてお客様に信頼さ



金型の精密加工例

れものづくり文化の地域継承に貢献する」という企業理念をつくった。顧客により良い物を提供する前向きな気持ちを表現するため、技術ではなく技術力とした。

新日鉄住金や日本製鋼所など大手製造業がある室蘭には、モノづくりが文化として息づいている。「文化を受け継ぎ、モノづくりの可能性を発信して地域に貢献したい」と藤井は力を込める。

(敬称略 札幌・山岸渉)

【企業プロフィール】

- ▽所在地 北海道室蘭市香川町24の16▽設立 88年(昭63) 3月▽従業員 1120人▽売上高 約14億円(15年12月期)

(火曜日に掲載)